

中国語文法Ⅰ

科目ナンバリング CHI-201
必修 1単位

閻 淑珍

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は初級中国語の学習を終えた学生向けの、準中級相当の授業である。後期の全員留学に備えるため、初級段階で習った基礎文法を固め、基礎文法の総復習と整理をし、中級へのステップとする。具体的には基礎文法の知識、単語、文型の練習・復習の繰り返しを通して、中国語の基礎文法をしっかりと身に付ける。また、基礎文法に表れる中国人の思维方式などを理解する必要もあるので、その根底にある中国文化に触れることもある。

2. 授業の到達目標

本学期での到達目標は以下となる。①基本文法をマスターする。②日常生活での最低限の会話ができるようにする。③簡単な文章を理解できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

学習態度(積極的に質問する、質問に答える、予習復習をする)は10%、中間テストは40%、期末テストは50%を占める。正当な理由なく事前連絡もなく、どちらかのテストを受けない学生は、評価ランクの“D”に入る。なお、3回の遅刻は1回の欠席と見なし、欠席回数が5回を超える学生は(5回も含め)、評価の対象にならない。

4. 教科書・参考文献

教科書

胡金定 ほか 『中国語基礎文法トレーニング』 白帝社

5. 準備学修の内容

各課の予習と復習は最低一時間かけてやること。

6. その他履修上の注意事項

今現在の国際状況(国と国の関係)に影響されることなく、高い視点で中国語の将来性を見据えて、高い志を持って中国語を勉強することを期待する。中国語のみでなく、中国文化や中国に関する情報・知識に対し、ハングリー精神と高い意欲を持ち、生き生きと学習することを期待する。中国語で表現することに慣れるように、まずテキストの会話文や例文を熟読または丸暗記できるまで声を出して朗読するのが望ましい。また、単語や習ったセンテンスをマメにノートに書き写すこと。中国語で日記を書くことも上達の近道である。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス(授業の進み方・成績の評価の仕方・学生への要望)
【第2回】	I-1 基本文型
【第3回】	I-3 アスペクト
【第4回】	II-1 “在”と“有”
【第5回】	II-3 “是…的”の構文
【第6回】	II-4 疑問詞の用法
【第7回】	中間テスト
【第8回】	III-1 前置詞
【第9回】	III-3 助詞
【第10回】	IV-1 様態補語
【第11回】	IV-3 連動文・存現文
【第12回】	V-1 複文
【第13回】	V-2 長文読解
【第14回】	総復習
【第15回】	まとめと期末テスト